

現在開催中の「あいちアートの森」の堀川会場・東陽倉庫テナントビル2Fにて、今週末“アーティストトーク&ライブパフォーマンス”を開催します。

日時は次のとおりです。

↓↓↓↓↓

2月21日(日)

14時 第一部：出品作家4名によるアーティストトーク

16時 第二部：出品作家山田亘によるライブ&トーク

第一部は、4名それぞれが、自作についてリレー式でトークをします。

これに参加すると、複雑な会場も迷子にならないで展示を見ることができますよ。

一番手は、▽大島成己さん。



都市風景の中で、ビルのガラス窓に幾重にも映り込んだ様子を撮影した写真作品です。どちらがガラスの手前で、どちらがガラスの向こう側なのか、見れば見るほどわからなくなるという不思議な感覚になります。

さて、つづいては、▽寺田就子さん。



これは出品作品の一部です。

プラスチックやガラスといった透明なものをよく使われているようです。砂のない砂時計に光が差し込んでできる影。日常の何気ない一瞬に、こんな光景がある。でも気がつかずに過ぎ去ってしまうことのほうが多いような…。

三番手は、▽設楽陸さんです。



じっくりみていくと、ヘンテコな物体がたくさん描かれています。

「これはなんだ！」と思いますが、実際に歴史の本や美術の本に載っている図像とのこと。実在のものと空想のものが入り交ざった画面は独特です。

最後は▽大崎のぶゆきさんです。



女の人の顔がだんだん崩れていき最後には消えてしまう、映像作品です。

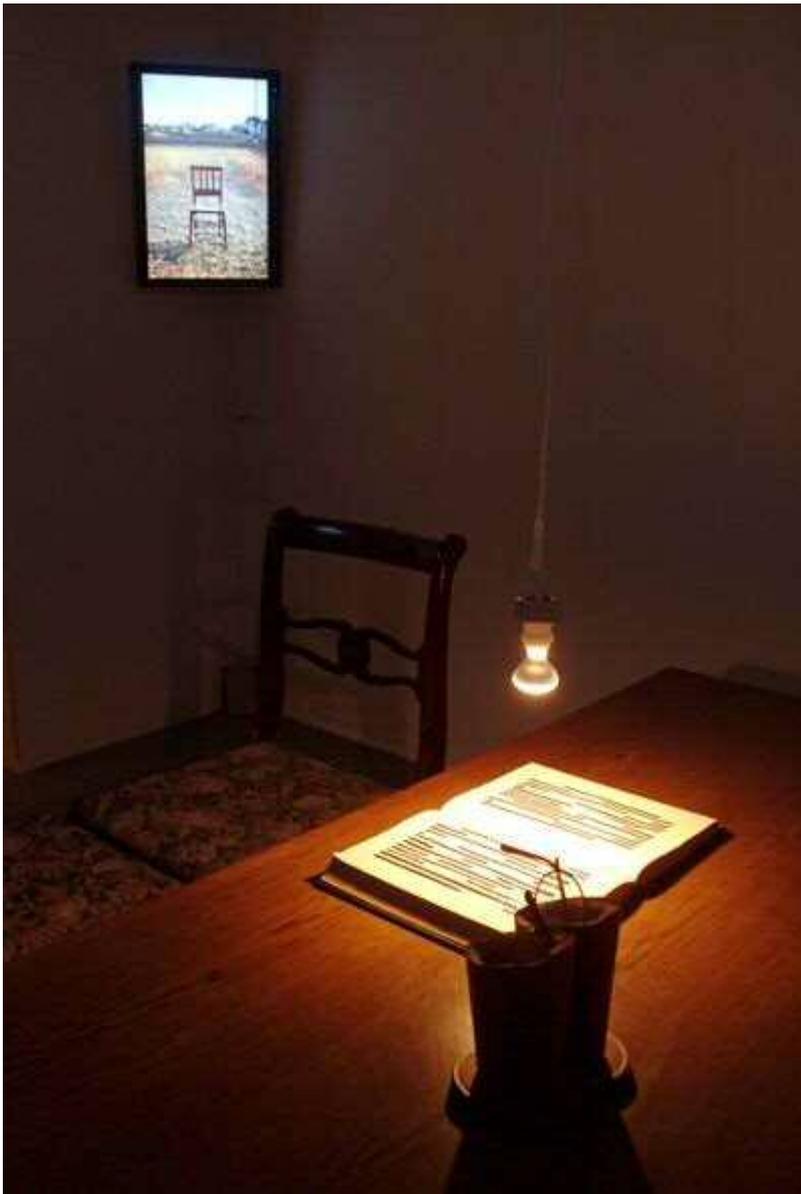
“リアリティの不確かさ”を表現したいと大崎さんは言っています。どうして女の人の顔に着目したのか気になります。

以上4名の作家へ、制作について質問をしながらお話を聞きます。

つづいて、山田亘さんによるライブ&トークを行います。

まずは、山田亘さんと村田仁さんによるユニット“楽器工事”のライブパフォーマンスがあります。どんなライブになるのか、これから楽しみです。

その後、山田亘さんが自作について語ります。



△山田亘《君の不在について》

様々な風景の中に置かれた椅子が4つのモニターに映り、“そこにはいない誰か”のことを話す声が流れています。タイトル《君の不在について》にあるように、“不在”と“存在”の関係について訴えてくるようなメッセージ性の強い作品です。

21日は、計5名の出品作家が来場します。

生の声が聞けるこの機会をお見逃しなく!!

(K0)